

部活動地域展開の考え方と今後の進め方について

中学校生徒のスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を継続して保障するとともに、教員の働き方改革を図るため、中学校部活動の地域展開を進めています。

1 本市の考え方

本市では地域活動が盛んに行われてきた歴史があります。その特徴や良さを活かし、子どもたちの学びと育ちをまちのみんなで支え合い、縦横の繋がりを大切にする明石らしさのある地域展開を進めていきます。地域との協働を図ることにより、生涯にわたってスポーツ・文化芸術活動に触れ合える環境を作り、持続可能な社会の担い手を育成し、まちづくりにも寄与していきます。

具体的には、「子どもたちの自主的な気持ちを大切にする」、「地域の人と共に支える」、「教員のやりがいを尊重しつつ、働き方改革を進める」、この3つの考え方を柱とし、「子ども・地域・教員」が三方よしとなるよう地域展開を推進していきます。

また、「試合や大会を目標に頑張りたい」、「友だちと楽しく過ごすことを最優先に活動したい」、「いろいろな活動を体験したい」、「地域の方々と一緒に活動したい」など、子どもたちの様々な「やりたい」の実現を目指します。

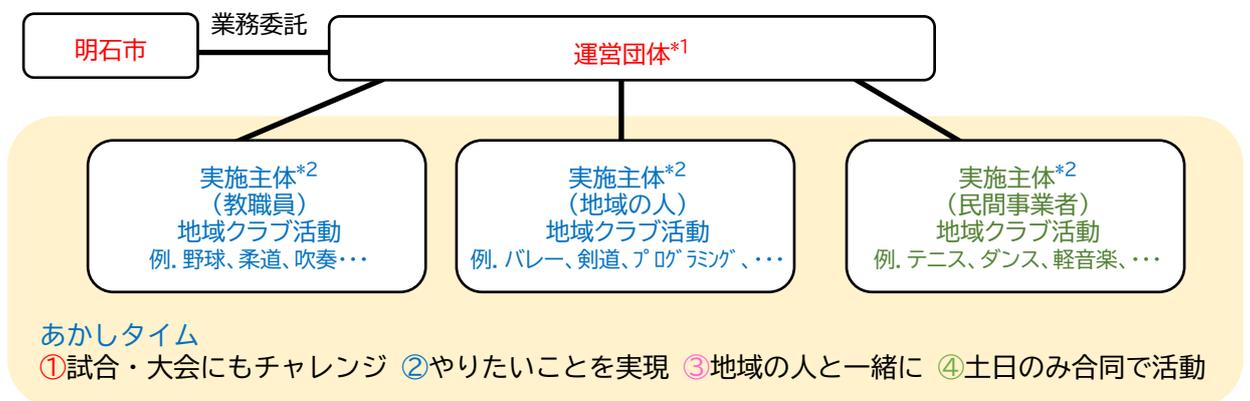
2 部活動のあり方検討委員会

本年5月9日及び7月11日に、「部活動のあり方検討委員会」を開催しました。委員からは「子どもたちが豊かなスポーツ・文化生活を維持できるよう持続可能な地域展開とするべき」、「地域展開へとステップを踏んでいけるスケジュールと運営体制を作っていく欲しい」等の意見がありました。

特に、運営団体*1と実施主体*2の事務分担については、重要項目として議論が交わされ、「地域展開を成功させるためには、実施主体の負担軽減が必須である。具体的には、参加費の徴収、指導者への謝金及び保険料の支払等、事務処理については可能な限り運営団体が行うべき」との見解が示されました。

運営団体と実施主体の事務分担等の課題解決に向けて、関係機関との調整を進めている旨や、それに伴いスケジュールの調整が必要となる旨を事務局から説明し、了承を得られています。

〈イメージ図〉



- * 1 運営団体 … 実施主体を管理する団体
※実施主体（教員、地域等）に対しては会計、広報等の業務を担う
- * 2 実施主体 … 地域クラブ活動を行う団体

★中学校施設における利用調整、鍵の管理などについては、中学校コミセンで行う。

3 現在の取組（モデル事業）

休日部活動の地域展開モデル事業の取組を進めています。令和6年度より実施している剣道について、内容を拡充しています。また、柔道についても、今年度より新たにモデル事業を開始する予定です。さらに、他の競技についても関係団体と協議を進めているところです。

4 今後の進め方について

持続可能な地域展開の実現を目指し、運営団体の早期決定と、スケジュールの確定をするとともに、学校、保護者、地域等への説明会を開催します。また、並行して休日モデル事業の検証を行います。

国や県が示すとおり、まずは休日の活動について地域展開の実現を図っていきませんが、平日の活動についても併せて検討を進めていきます。